

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公開番号】特開2011-194875(P2011-194875A)  
 【公開日】平成23年10月6日(2011.10.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-040  
 【出願番号】特願2010-213666(P2010-213666)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 29/38 (2006.01)**

**B 4 1 J 5/30 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/12 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 5/30 Z

G 0 6 F 3/12 P

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月17日(2012.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させることが可能な印刷制御装置であって

、  
 連続シートの両面への印刷を前記印刷手段に実行させる際、第1の印刷ジョブにより使用可能な連続シートと、第2の印刷ジョブにより使用可能な連続シートとが同一であるか否か判定する判定手段と、

前記判定手段により同一であると判定された場合、前記第1の印刷ジョブにおいて連続シートの第1面に配置すべき画像と、前記第2の印刷ジョブにおいて連続シートにおいて第1面に配置すべき画像とを連続シートに連続して前記印刷手段に印刷させ、その後、前記第1の印刷ジョブと前記第2の印刷ジョブとにおいて連続シートの反対面に配置すべき画像を前記印刷手段に印刷させるよう制御する印刷制御手段とを有することを特徴とする印刷制御装置。

【請求項2】

前記判定手段は、連続シートの第1面に配置される隣り合った画像同士で使用可能な連続シートが同一であるか判定することを特徴とする請求項1に記載の印刷制御装置。

【請求項3】

前記判定手段は、前記第1の印刷ジョブの第1面の最後に印刷させるページで使用可能な連続シートと前記第2の印刷ジョブの第1面の最初に印刷させるページで使用可能な連続シートとを比較することを特徴とする請求項2に記載の印刷制御装置。

【請求項4】

前記判定手段は、さらに、各印刷ジョブ内において頁毎に連続シートの第1面に配置される隣り合った画像同士で使用可能な連続シートが同一であるか判定し、

前記印刷制御手段は、前記判定手段により使用可能な連続シートが同一であると判定された頁を連続して印刷させる対象とし、使用可能な連続シートが同一ではない頁からは連続して印刷させる対象から外すことを特徴とする請求項2又は3に記載の印刷制御装置。

**【請求項 5】**

前記印刷制御手段は、連続シートに配置される画像が所定の長さを超えない範囲で同一面に配置させる画像の数を決定することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の印刷制御装置。

**【請求項 6】**

前記印刷制御手段は、連続シートの残量を超えない範囲で同一面に配置させる画像の数を決定することを特徴とする請求項 5 に記載の印刷制御装置。

**【請求項 7】**

前記印刷制御手段は、連続シートの種類に応じて特定される上限の長さを超えない範囲で同一面に配置させる画像の数を決定することを特徴とする請求項 5 に記載の印刷制御装置。

**【請求項 8】**

前記判定手段は、前記第 1 印刷ジョブと前記第 2 の印刷ジョブそれぞれにおいて使用可能な連続シートが複数ある場合、使用可能な連続シートに同一のものがあれば同一であると判定し、

前記印刷制御手段は、前記判定手段により同一であると判定された場合、前記第 1 のジョブの画像と前記第 2 の印刷ジョブの画像を同一の連続シートに印刷させるよう制御することを特徴とする印刷制御装置。

**【請求項 9】**

さらに、前記第 1 の印刷ジョブにおいて連続シートの第 1 面に配置する画像と、前記第 2 の印刷ジョブにおいて連続シートの第 1 面に配置する画像とを連続して印刷させることを許可するか否かを設定する設定手段を有し、

前記印刷制御手段は、前記設定手段により許可するよう設定されている場合に、前記第 1 の印刷ジョブにおいて連続シートの第 1 面に配置する画像と、前記第 2 の印刷ジョブにおいて連続シートの第 1 面に配置する画像とを連続シートに連続して印刷させることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の印刷制御装置。

**【請求項 10】**

連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させることが可能な印刷制御装置であって

連続シートの両面への印刷を前記印刷手段に実行させる際、先行する印刷ジョブにより使用する連続シートを、後続の印刷ジョブで使用可能か否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により使用可能であると判定された場合、前記先行する印刷ジョブにおいて連続シートの第 1 面に配置すべき画像と、前記後続する印刷ジョブにおいて連続シートにおいて第 1 面に配置すべき画像とを同一の連続シートに連続して前記印刷手段に印刷させ、その後、前記先行する印刷ジョブと前記後続の印刷ジョブとにおいて連続シートの反対面に配置すべき画像を前記印刷手段に印刷させるよう制御する印刷制御手段とを有することを特徴とする印刷制御装置。

**【請求項 11】**

前記判定手段は、前記先行する印刷ジョブの第 1 面の最後に印刷させるページにおいて使用する連続シートを、前記後続の印刷ジョブの第 1 面の最初に印刷させるページで使用可能か否かを判定することを特徴とする請求項 10 に記載の印刷制御装置。

**【請求項 12】**

前記判定手段は、さらに、各印刷ジョブ内において先行するページで使用する連続シートを、後続のページで使用可能か否かを判定し、

前記印刷制御手段は、前記判定手段により使用可能であると判定された頁を連続して印刷させる対象とし、使用可能ではない頁からは連続して印刷させる対象から外すことを特徴とする請求項 10 又は 11 に記載の印刷制御装置。

**【請求項 13】**

連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させる際、第 1 の印刷ジョブにより使用可能な連続シートと、第 2 の印刷ジョブにより使用可能な連続シートとが同一であるか否か

判定し、

前記判定により同一であると判定された場合、前記第1の印刷ジョブにおいて連続シートの第1面に配置すべき画像と、前記第2の印刷ジョブにおいて連続シートにおいて第1面に配置すべき画像とを連続シートに連続して前記印刷手段に印刷させ、その後、前記第1の印刷ジョブと前記第2の印刷ジョブとにおいて連続シートの反対面に配置すべき画像を前記印刷手段に印刷させることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項14】

連続シートの両面への印刷を前記印刷手段に実行させる際、先行する印刷ジョブにより使用する連続シートを、後続の印刷ジョブで使用可能か否か判定し、

前記判定により使用可能であると判定された場合、前記先行する印刷ジョブにおいて連続シートの第1面に配置すべき画像と、前記後続する印刷ジョブにおいて連続シートにおいて第1面に配置すべき画像とを同一の連続シートに連続して前記印刷手段に印刷させ、その後、前記先行する印刷ジョブと前記後続の印刷ジョブとにおいて連続シートの反対面に配置すべき画像を前記印刷手段に印刷させることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項15】

請求項13又は14に記載の印刷制御方法をコンピュータにより実現することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明の印刷制御装置は、連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させることが可能な印刷制御装置であって、連続シートの両面への印刷を前記印刷手段に実行させる際、第1の印刷ジョブにより使用可能な連続シートと、第2の印刷ジョブにより使用可能な連続シートとが同一であるか否か判定する判定手段と、前記判定手段により同一であると判定された場合、前記第1の印刷ジョブにおいて連続シートの第1面に配置すべき画像と、前記第2の印刷ジョブにおいて連続シートにおいて第1面に配置すべき画像とを連続シートに連続して前記印刷手段に印刷させ、その後、前記第1の印刷ジョブと前記第2の印刷ジョブとにおいて連続シートの反対面に配置すべき画像を前記印刷手段に印刷させるよう制御する印刷制御手段とを有する。

また、本発明の他の印刷制御装置は、連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させることが可能な印刷制御装置であって、連続シートの両面への印刷を前記印刷手段に実行させる際、先行する印刷ジョブにより使用する連続シートを、後続の印刷ジョブで使用可能か否か判定する判定手段と、前記判定手段により使用可能であると判定された場合、前記先行する印刷ジョブにおいて連続シートの第1面に配置すべき画像と、前記後続する印刷ジョブにおいて連続シートにおいて第1面に配置すべき画像とを同一の連続シートに連続して前記印刷手段に印刷させ、その後、前記先行する印刷ジョブと前記後続の印刷ジョブとにおいて連続シートの反対面に配置すべき画像を前記印刷手段に印刷させるよう制御する印刷制御手段とを有する。